



2012年度 第2四半期決算

2012年11月8日



住友軽金属工業株式会社



目次

1. 第2四半期決算概要
2. 今期業績予想
3. 第四次中期経営計画の進捗状況
(SUMIKEI VISION 2012)
4. 古河スカイとの経営統合

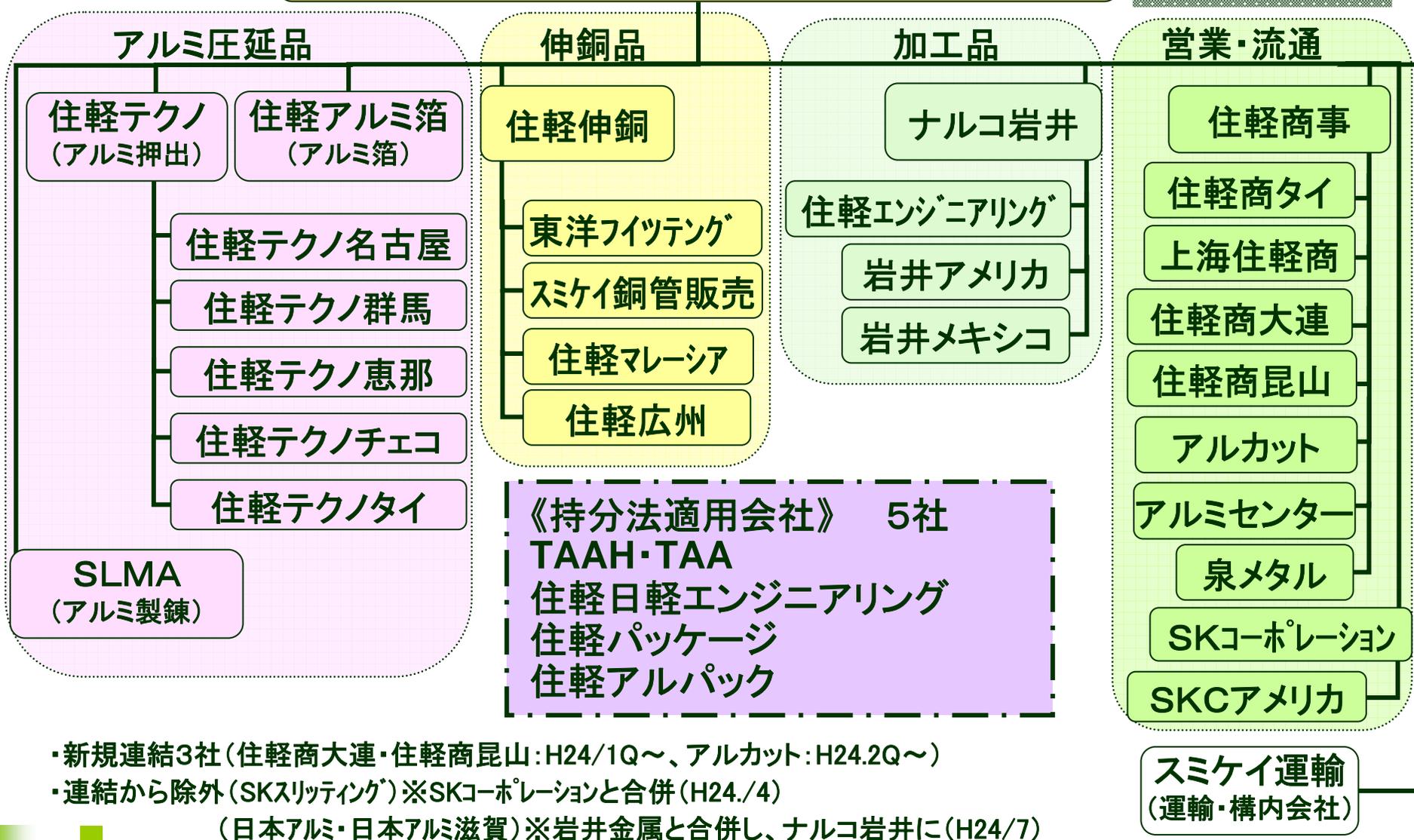


1. 第2四半期決算 概 要

① 連結子会社

住友軽金属工業(アルミ板)

連結対象
28社



②第2四半期のポイント

1. 経常利益：54億円、四半期純利益：24億円

- ・前年下半期からは順調に回復し、経常利益54億円を計上。
(特殊増加要因のあった前年上半期からは減少)
- ・株価の大幅な下落による投資有価証券評価損が発生し
四半期純利益は24億円にとどまる。

2. 中間配当1.5円／株 実施

- ・予定通り中間配当を実施

③ セグメント別売上高・営業利益(連結)

(単位: 億円)

	11年度上期		12年度上期		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
アルミ圧延品	881	88	832	64	△49	△24
伸銅品	277	9	279	13	2	4
加工品・関連事業	190	2	178	5	△12	3
調整	-	△16	-	△16	-	0
合計	1348	83	1289	66	△59	△17

※売上高対前年同期増減事由

新規連結	地金価格差	数量構成差	合計
7	△40	△26	△59

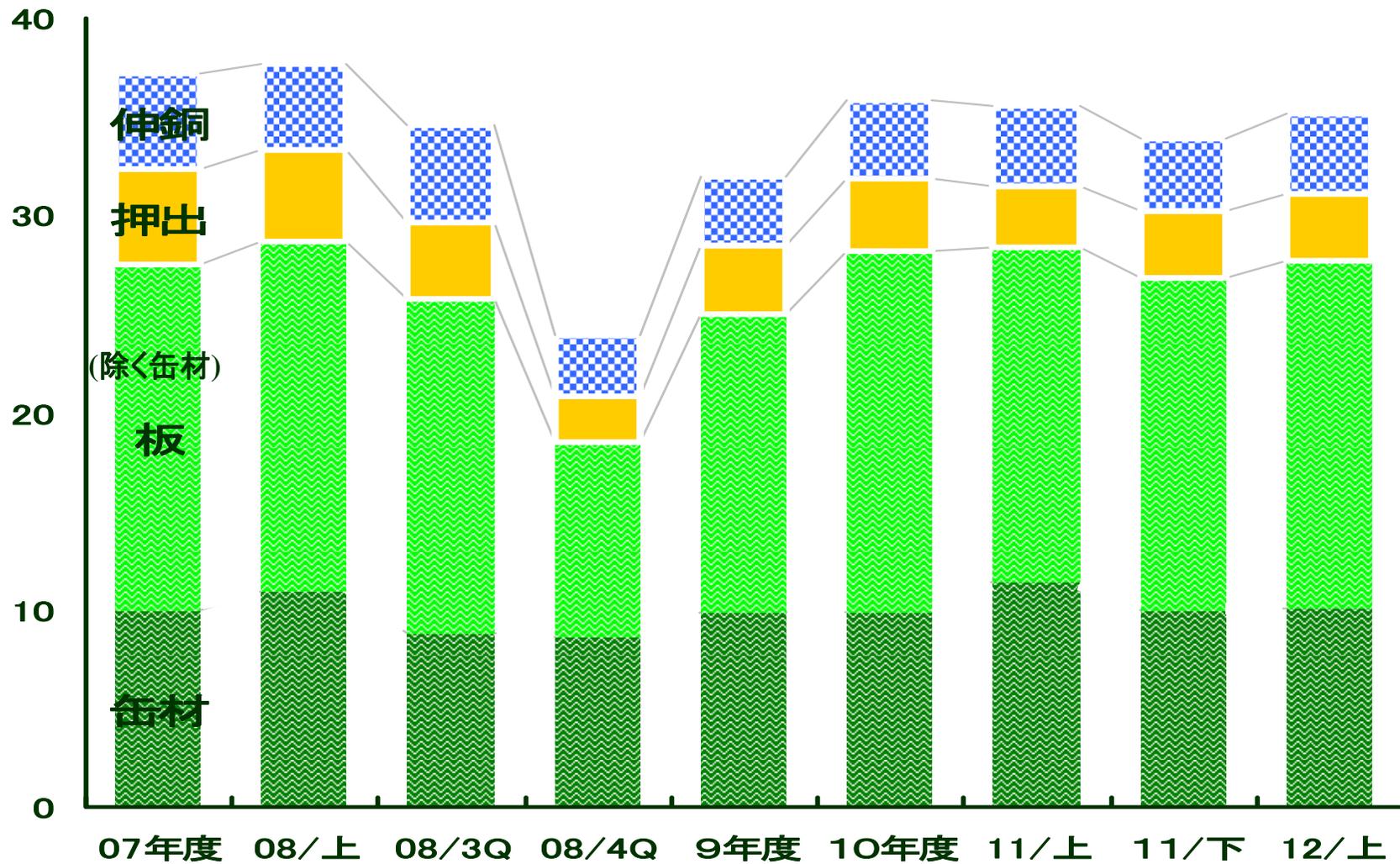
④ セグメント別売上高(単体)

(単位:千ト、億円)

	11年上期		12年上期		増減	
	数量	金額	数量	金額	数量 伸率%	金額
アルミ板	170	640	166	597	△4 △2.3%	△43
その他	—	111	—	88	—	△23
アルミ圧延品計	—	751	—	685	—	△66
伸銅品	24	242	—	—	△24	△242
合計	—	993	—	685	—	△308
住軽テクノグループ	19	137	20	137	1	0
住軽伸銅	—	—	24	226	24	226

⑤ 品種別販売量推移

千ト/月



⑥ 連結損益

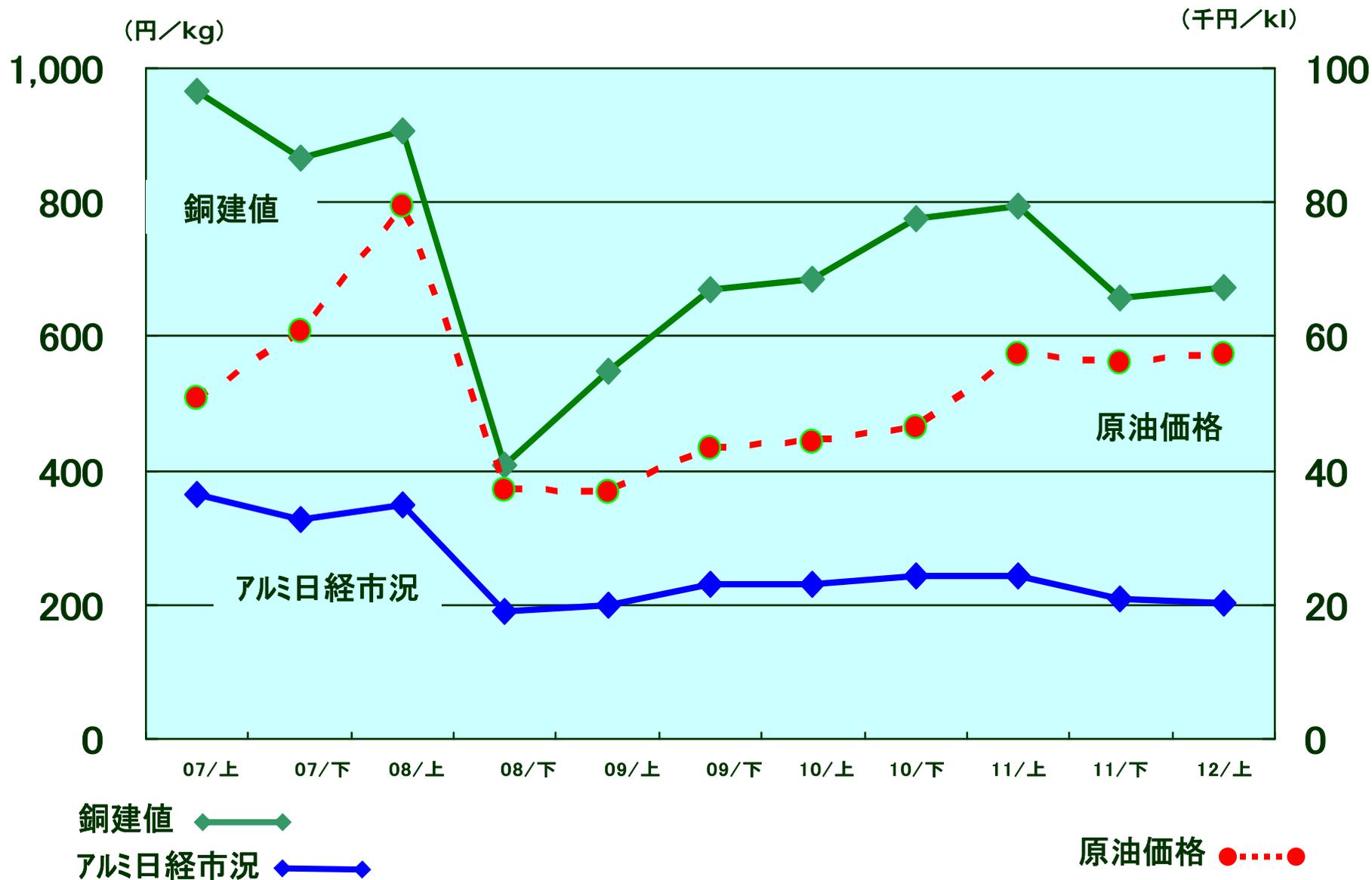
(単位：億円)

連 結	11年上期	12年上期	増 減	伸率%
売 上 高	1348	1289	△59	△4.4
営 業 利 益	83	66	△17	△20.9
経 常 利 益	71	54	△17	△24.6
当 期 純 利 益	56	24	△32	△57.6
設 備 投 資	30	34	4	
減 価 償 却 費	45	40	△5	

※特別損益内訳(主要科目)

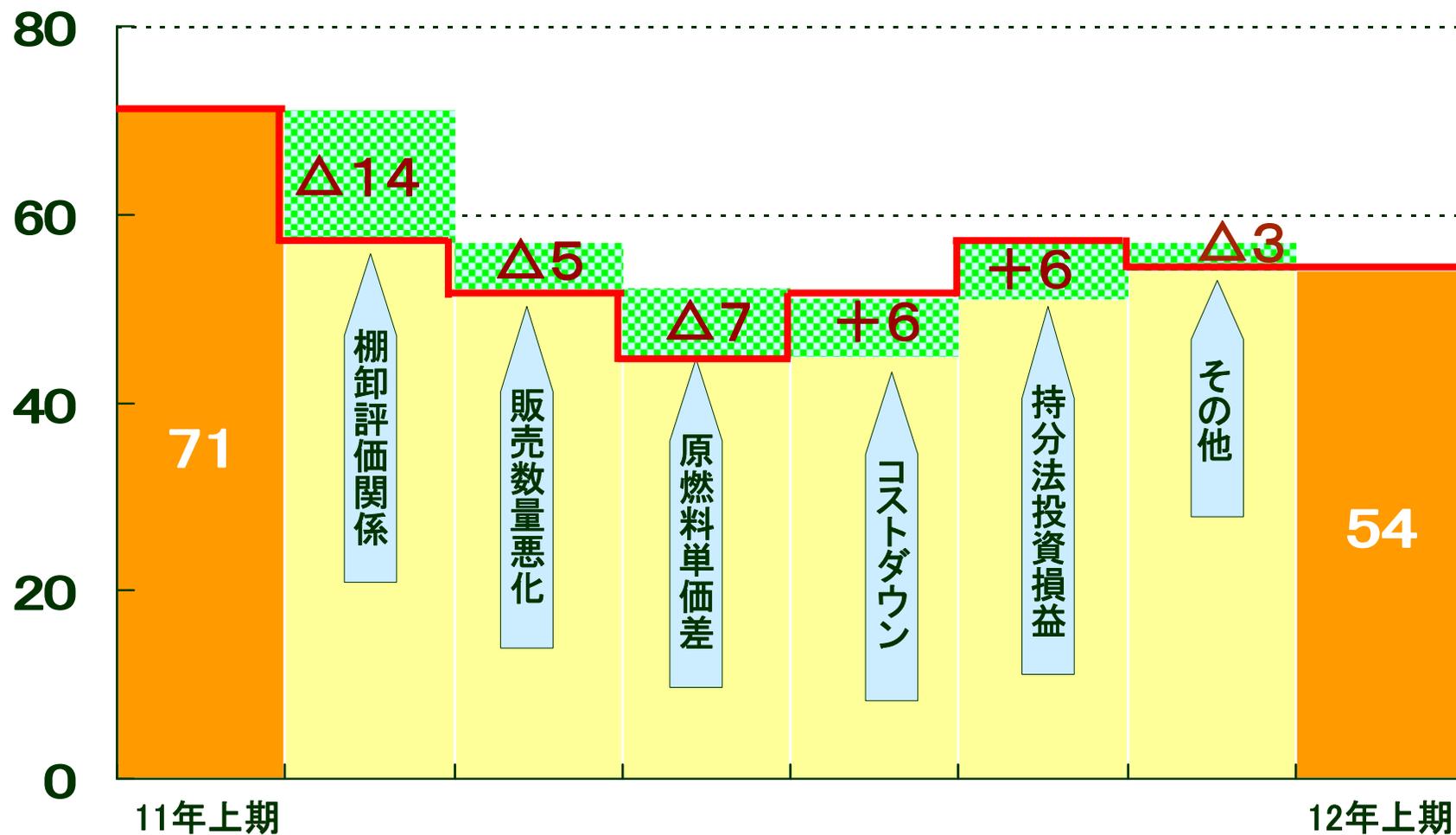
	11年上期	12年上期
投資有価証券評価損	△12	△17

⑦アルミ・銅地金及び原油価格推移



⑧連結経常損益分析

(億円) 71億円(11年上期) → 54億円(12年上期)



⑨連結B/S主要項目

(単位：億円)

連結	12年3月末	12年9月末	増減
株主資本	583	600	17
その他の 包括利益累計額他	△50	△49	1
純資産	533	551	18
純資産比率	16.5%	17.2%	0.7%
総資産	3222	3198	△24

有利子負債	1546	1484	△62
-------	------	------	-----



2. 今期業績予想

① 今期業績見通しのポイント

1. 経常利益：100 億円、当期純利益：50 億円

- ・下期は想定を上回る世界的な景気低迷により
当初予想より悪化

2. 期末配当 2.0円／株

- ・配当は当初予定通り実施予定
(年間配当 3.5円／株)

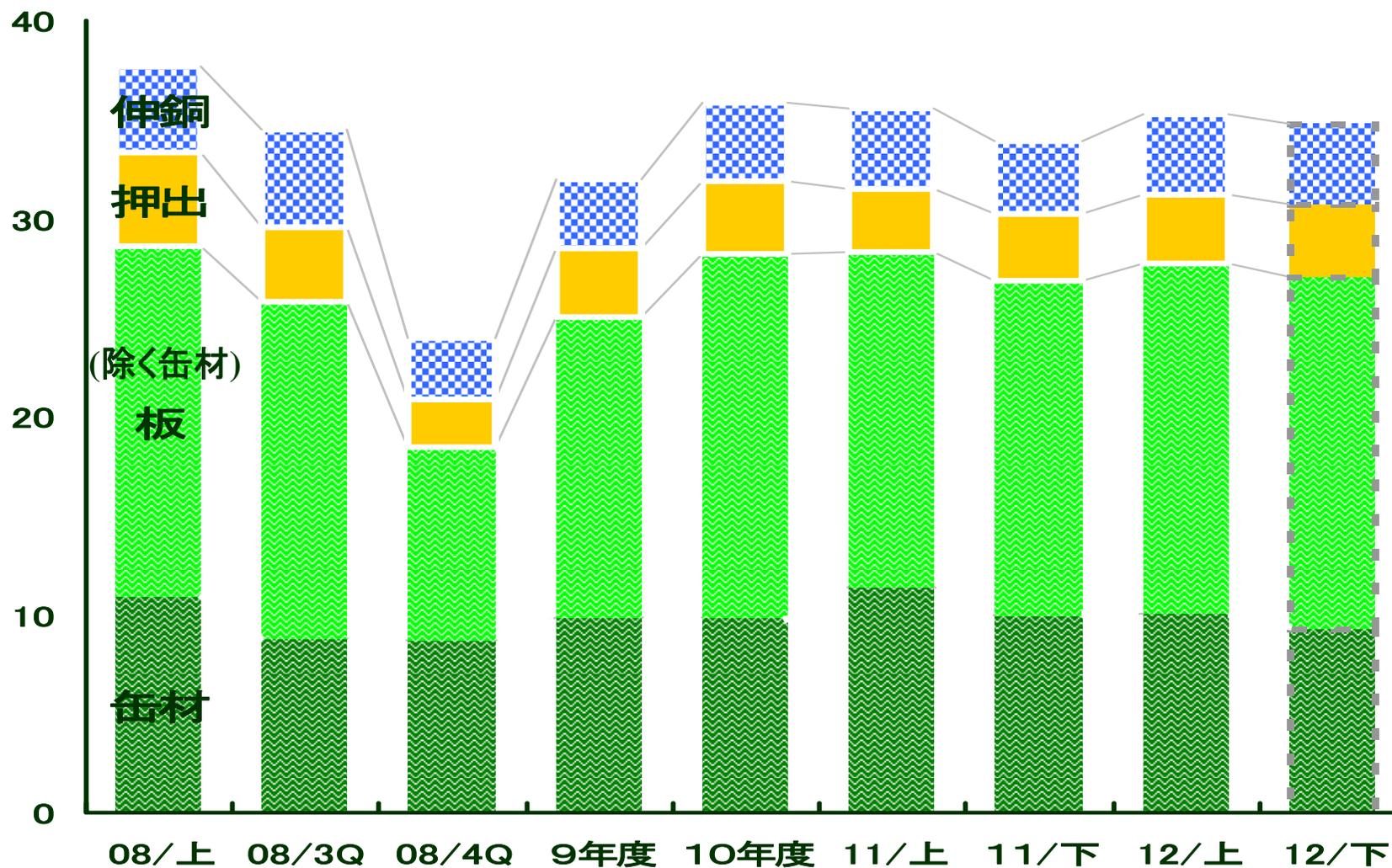
② セグメント別売上高・営業利益予想(連結)

(単位: 億円)

	11年度		12年度予想		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
アルミ圧延品	1686	132	1640	118	△46	△14
伸銅品	504	14	532	23	28	9
加工品・関連事業	399	9	378	11	△21	2
調整	-	△32	-	△32	-	0
合計	2589	123	2550	120	△39	△3

③ 品種別販売量推移

千ト/月



④連結損益予想

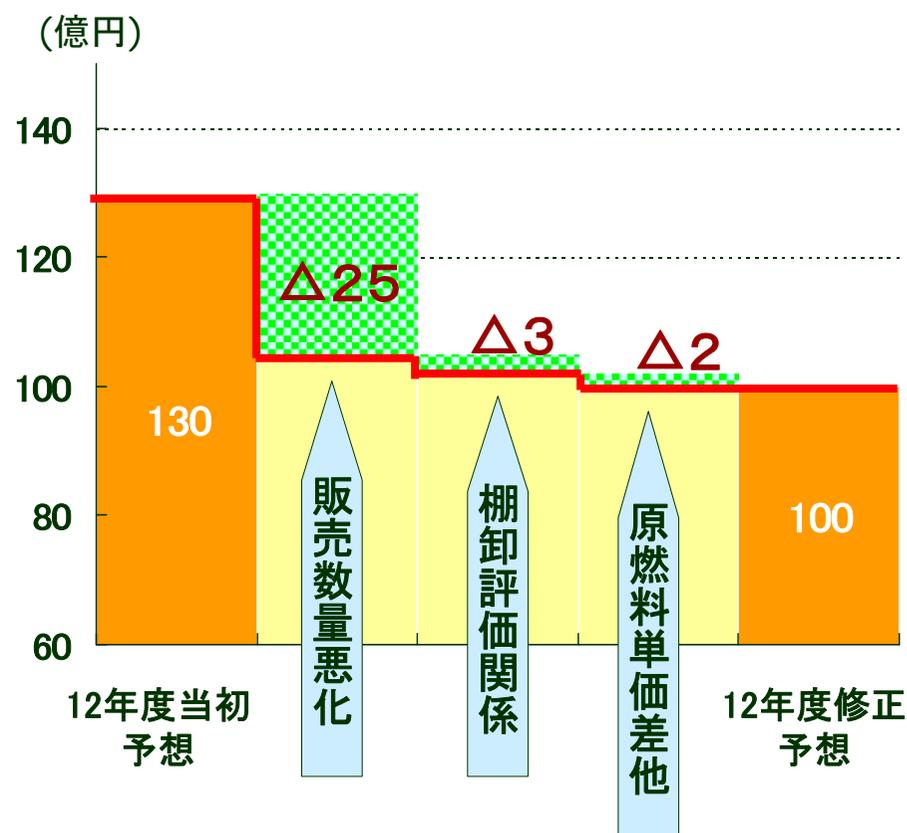
(単位：億円)

連 結	11年度 実 績	12年度 修正予想	伸率%
売上高	2589	2550	△1.5
営業利益	123	120	△2.8
経常利益	102	100	△1.8
当期純利益	83	50	△39.7
設備投資	52	77	
減価償却費	92	82	

⑤連結損益予想分析

130億円(12年度当初予想)→100億円(12年度修正予想)

	12年度 当初予想	12年度 修正予想	増減
売上高	2650	2550	△100
営業利益	150	120	△30
経常利益	130	100	△30
当期純利益	90	50	△40



⑥ 配当予想

〈配当方針〉

以下の事項を勘案しつつ配当額を決定する

- ▶ 安定した配当の継続実施
- ▶ 企業価値向上の為の投資資金確保
- ▶ 財務体質の強化

2012年度 期末配当 2.0円/株
(年間配当 3.5円/株)



3. 第四次中期経営計画 の進捗状況 (SUMIKEI VISION 2012)

①環境認識

1 グローバルな成長市場の奪い合い

2 新規製品分野の成長

3 ユーザー海外展開のスピードアップと方針変化

4 海外メーカー、
特に中国／韓国軽圧メーカーの脅威の増大

②中長期的課題

『ありたい姿』

お客様にとっての

ベスト・グローバル・パートナー

- 1 技術開発力の優位性の維持・強化(既存分野/新規製品分野)
- 2 品質・納期・技術サービス等による海外メーカーとの差別化
- 3 海外展開ユーザーへのグローバルな供給体制構築
(ローカルメーカーにも供給可能な競争力を確保した供給体制)
- 4 上記を含めた持続的成長投資が可能な安定的収益構造と
財務体質の実現

③ 基本方針

「守り」と「攻め」の両立へ

- 1 コスト構造改革と財務体質の早急な改善
- 2 成長戦略のビルトイン
- 3 技術開発力の更なる強化
- 4 コーポレートガバナンス、
コンプライアンス体制の強化
- 5 復配の早期実現

④ 数値目標

第4次中期計画
「SV12」開始

単位: 億円

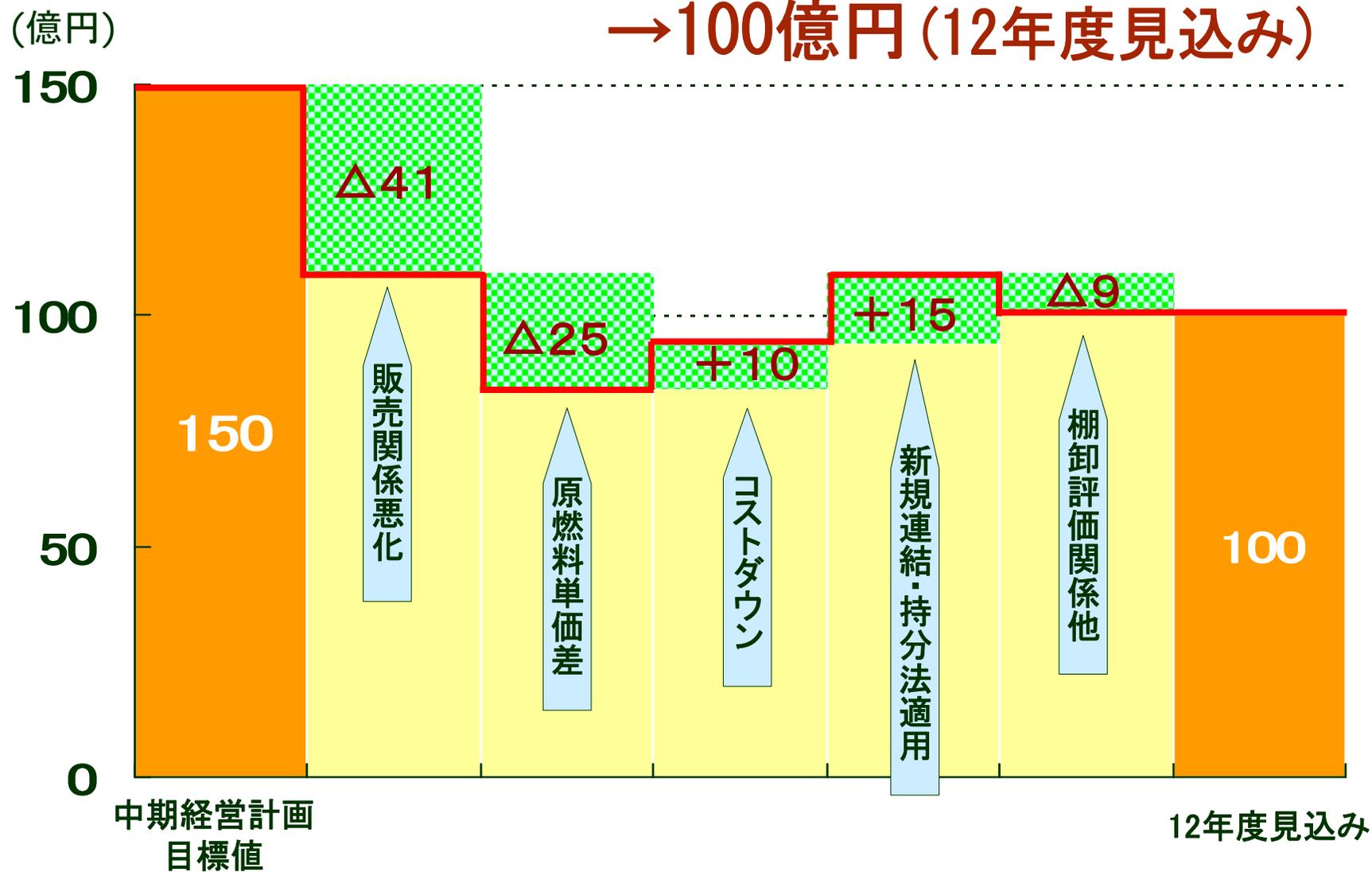
連結	2010年度 実績	2011年度 実績	2012年度 2Q実績	2012年度 予想	2012年度 中計目標
売上高	2,595	2,589		2,550	2,600
営業利益	156	123		120	190
経常利益	115	102		100	150
ROA	5.1%	4.1%	※ 4% (年間推計ベース)	4%	7%
有利子負債	1,652	1,546	1,484	1,450	1,450
純資産比率	11.5%	16.5%	17.2%	18%	20%
一般投資	39	45		60	
戦略投資	12	139		25	
投資計	51	184		85	250/3年間

320億円 / 3年間 投資計(リースを含む)
※内110億円は公募増資により調達

《参考》連結経常損益分析

150億円 (中期経営計画目標値)

→ 100億円 (12年度見込み)



⑤ コスト構造改革

◆ 加工品事業再編

2009年10月 (新)日本アルミグループスタート
2012年7月 ナルコ岩井設立

◆ 押出素材/部材事業再編

2010年4月 住軽テクノグループスタート

◆ 伸銅事業の再編

2011年10月 住軽伸銅分社化
2012年4月 アルミセンター銅事業の
スミケイ銅管販売への譲渡

◆ 自動車熱交部材販売・加工子会社の再編

2012年4月 SKスリッティングの
SKコーポレーションへの合併

◆ 大幅な在庫削減等

⑥ 成長戦略の遂行

【海外投資】

- ▣ 北米缶材拠点 (TAA) 取得 (2011.8)
- ▣ 住軽テクノチェコ 第2期増設工事(2010.1)
- ▣ 住軽テクノタイ 生産開始(2011.4) 設備増設(2012.9)
- ▣ 住軽商昆山 板加工設備増設(2011.8)
- ▣ 上海営業拠点開設(2011.5)

【国内投資】

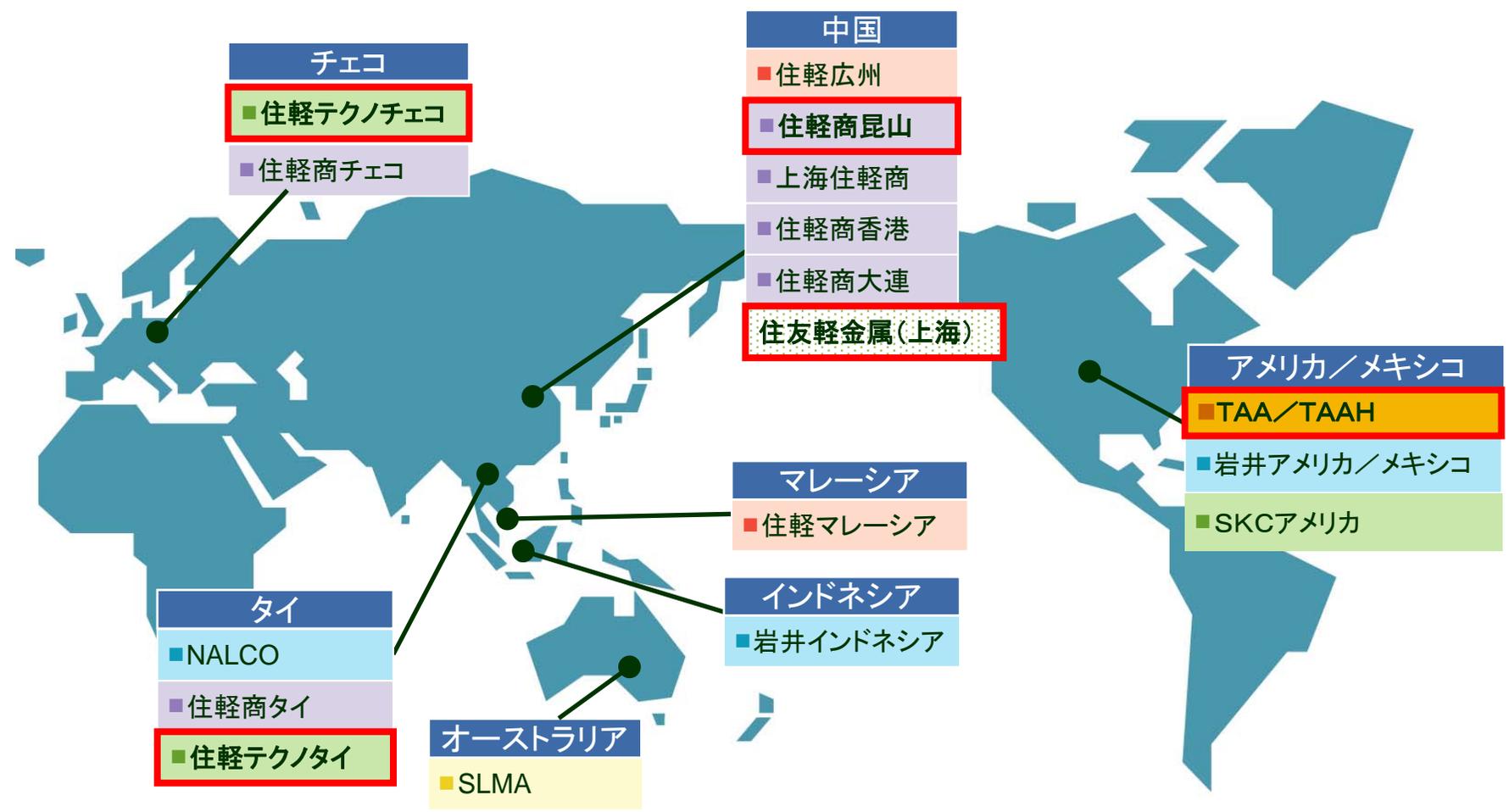
- ▣ 新冷間圧延機設置 (2010.1)
- ▣ リチウムイオン電池箔用スリッター増設(1台目2010.7/2台目2011.7)
- ▣ SKコーポレーション買収 (2011.4)
- ▣ 日立電線の銅管事業撤退に伴う設備購入 (2012.3)
- ▣ 住軽商事によるアルカット買収 (2012.7)

【成長分野への注力】

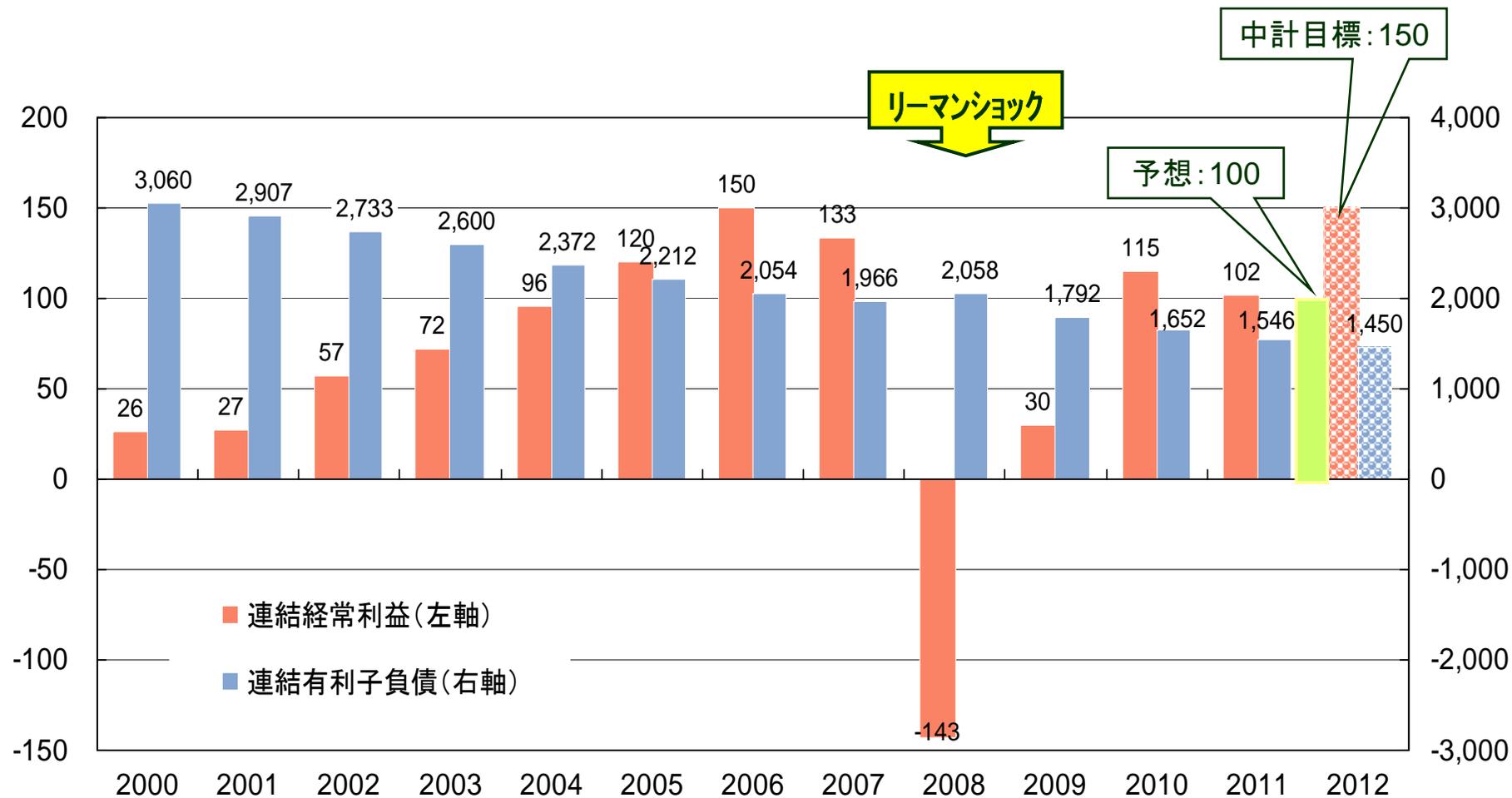
- ▣ 自動車向け素材及び加工品 (エコカー関連部材)
- ▣ IT用アルミ部材 ① リチウムイオン電池、キャパシタなど
② パソコン、タブレットPC、スマートフォン
- ▣ エアコン用オールアルミ熱交

⑦ グローバル供給体制

事業部門	■ 板部門	■ 押出部門	■ 伸銅部門
	■ 加工部門	■ 流通部門(住軽商事グループ)	■ 製錬部門



⑧ 経常利益と有利子負債





4. 古河スカイとの経営統合

① 統合の概要

《対等の精神に基づく経営統合》

■ 統合概要

商号	両社協議の上、新しい社名を決定
本店所在地	両社協議の上、追って決定 ※両社の本店以外の新本店とする予定
合併効力発生日 (統合期日)	2013年10月1日(予定)
統合形式	古河スカイを存続会社とする合併
合併比率	古河スカイ=1 住友軽金属工業=0.346 (住友軽金属工業1株に古河スカイ0.346株を割当)



■ 進捗状況および今後のスケジュール(予定)

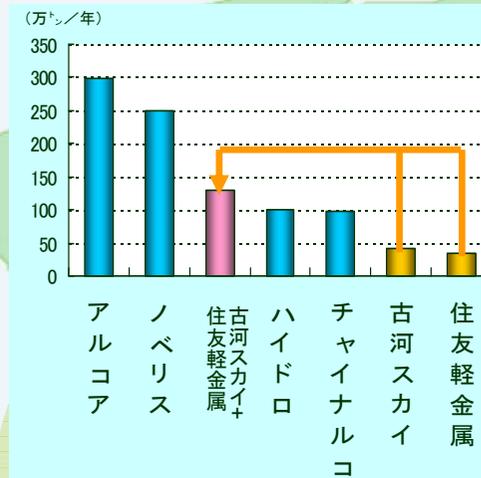
- ・2012年8月29日 統合基本合意書の締結
- ・2012年9月28日 独占禁止法1次審査終了

-
- ・2013年6月 両社、定時株主総会にて合併契約のご承認
 - ・2013年10月1日 合併期日(統合期日)

② 統合の効果

世界的な競争力を持つ「アルミ圧延メジャー会社へ」

- ▶ 生産能力 100万トン超、世界第3位に
- ▶ グローバルに展開する生産拠点ネットワークを獲得



統合効果の早期創出



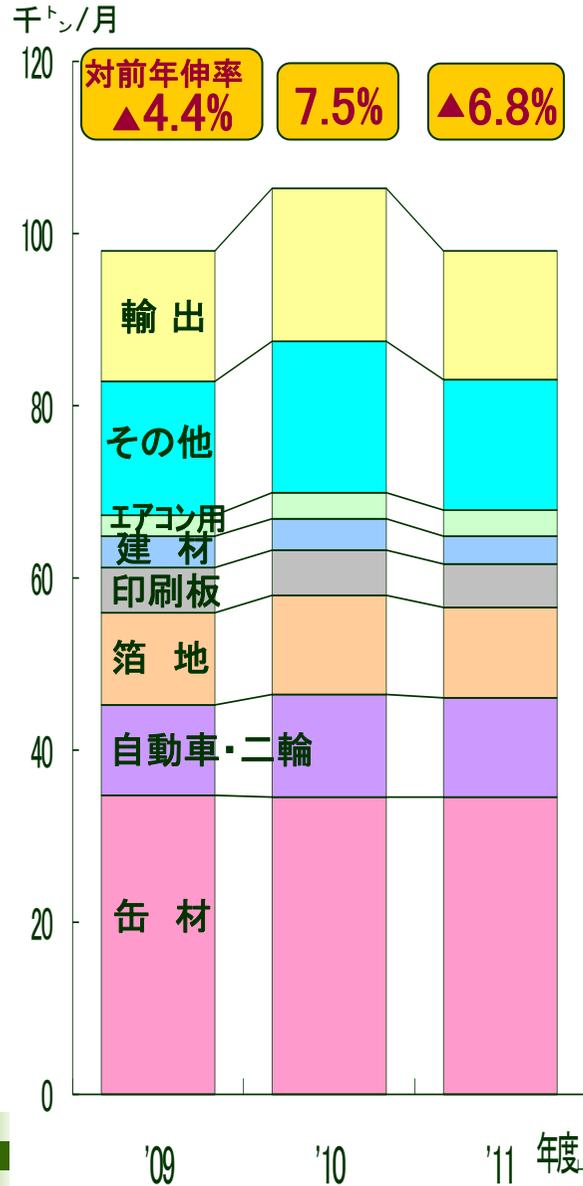
(参考資料)

需要分野別販売概要

① アルミ板

データ: 日本アルミニウム協会

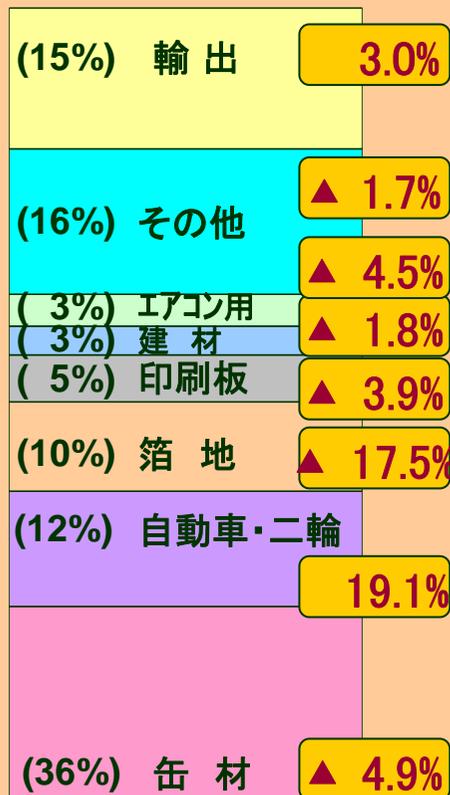
業界全体出荷量



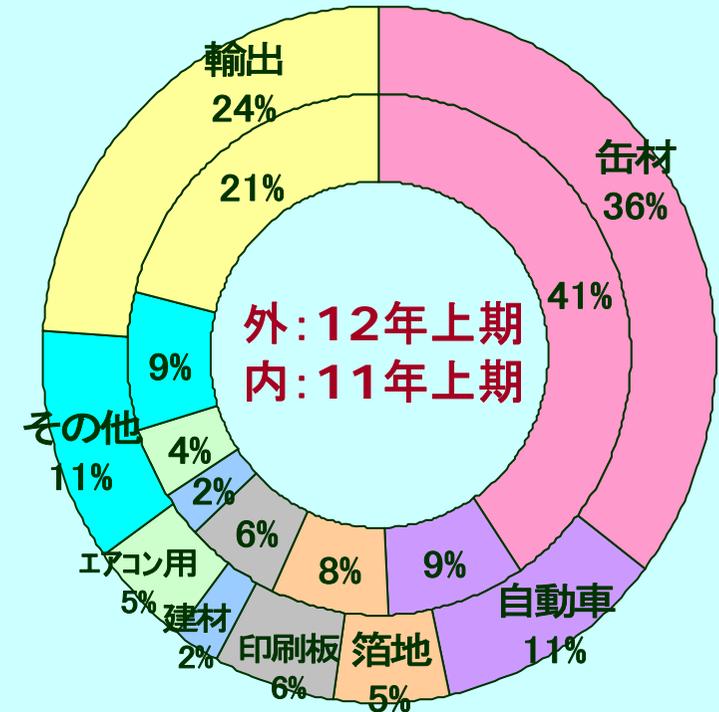
<12年上期>

100千トン 対前年伸率 ▲2.1%

構成比



当社販売量

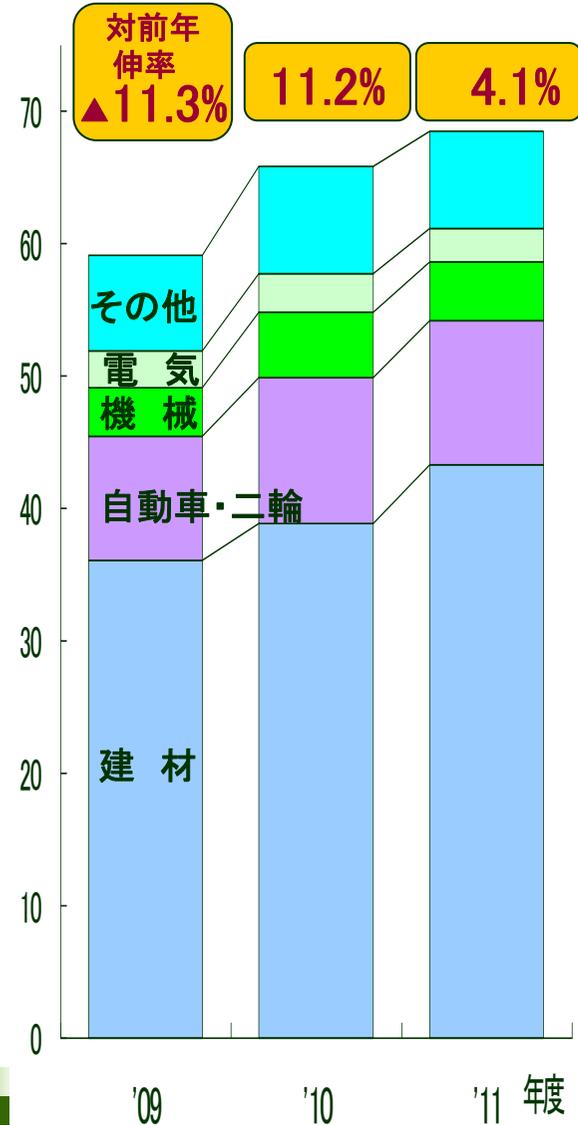


② アルミ押出

データ: 日本アルミニウム協会

業界全体出荷量

千トン/月



<12年上期>

66千トン

対前年伸率
3.1%

構成比

(11%) その他 ▲3.1%

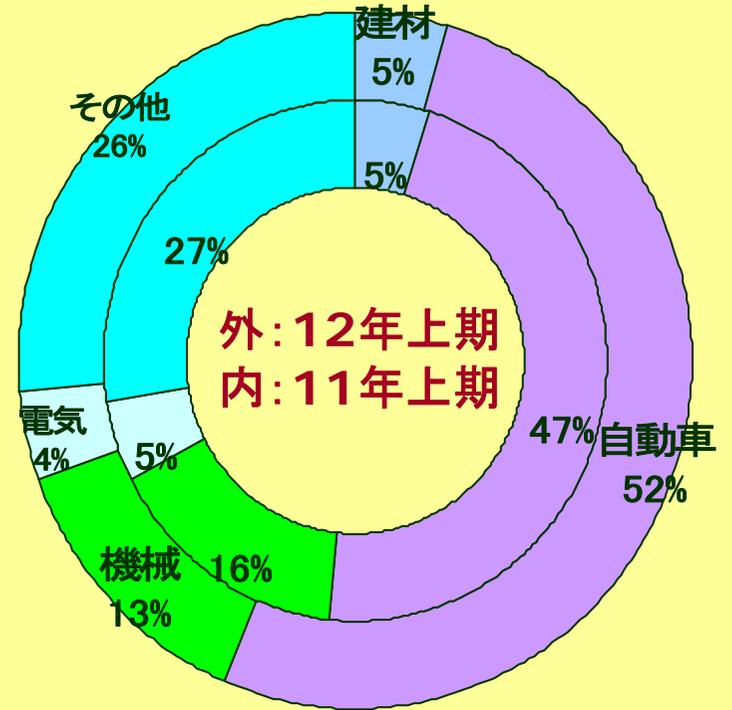
(3%) 電気 ▲13.0%

(6%) 機械 ▲12.5%

(18%) 自動車・二輪 17.5%

(62%) 建材 3.6%

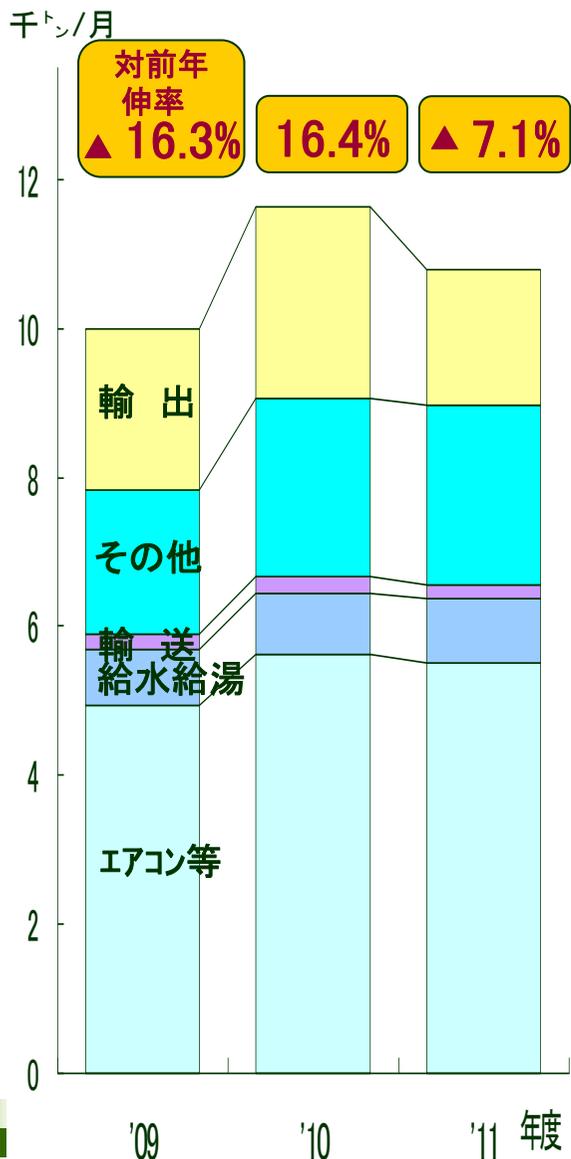
当社販売量



③ 銅 管

データ: 日本伸銅協会

業界全体出荷量



<12年4-8月>

10千トン

対前年伸率
▲ 14.2%

構成比

(14%) 輸出 ▲ 22.9%

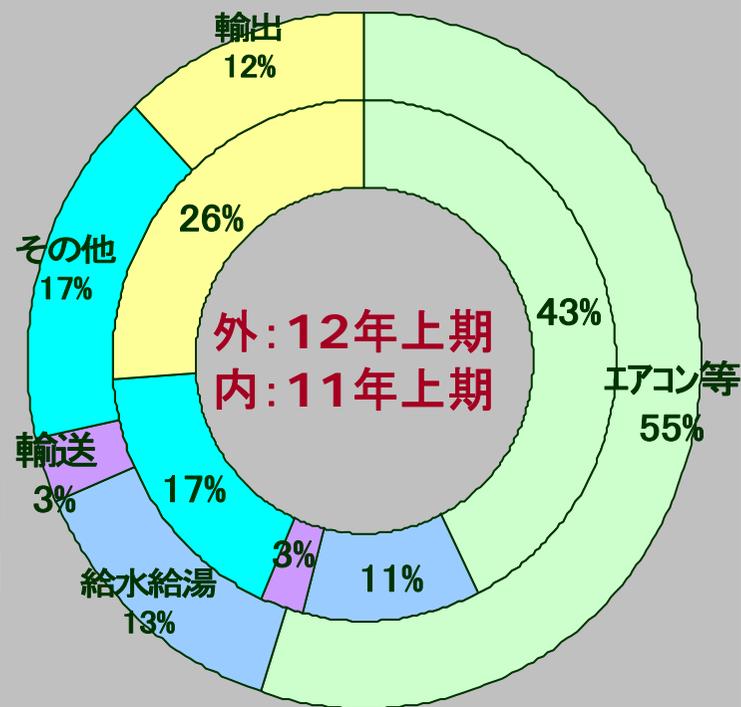
(19%) その他 ▲ 26.0%

(1%) 輸送 ▲ 10.2%

(8%) 給水給湯 ▲ 8.2%

(57%) エアコン等 ▲ 7.6%

当社販売量



将来見通しに関する注意事項

本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性・完全性を保証するものではありません。

本資料の中には、弊社の予想・確信・期待・意向及び戦略など、将来の予測に関する内容が含まれております。これらは、弊社が説明会の時点で入手可能な情報による判断及び仮定に基づいて作成されており、判断や仮定に内在する不確定性及び今後の事業運営や内外の状況変化による変動可能性など様々な要因によって、実際生じる結果が予測内容とは実質的に異なってしまう可能性があります。弊社は、将来予測に関する如何なる内容についても、改訂する義務を負うものではありません。

本資料に関する著作権・商標権その他全ての知的財産権は、当社に帰属します。